



白神の絆

【発行】林野庁 東北森林管理局
津軽白神森林生態系保全センター

住所：〒038-2754 青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字米町 25-2

TEL：0173(72)2931 FAX：0173(72)2932

鰺ヶ沢町内小学生による林業体験学習

9月10日（火）、舞戸小学校4年生43名が鰺ヶ沢町矢倉山国有林内にて林業体験学習を行いました。津軽森林管理署北林次長より挨拶と森林を育てる大切さについて説明を行い、各班に分かれ除伐作業（植栽したスギの生長を良くするため、生育不良なスギや広葉樹を切る作業）を開始しました。津軽森林管理署および当センター職員がノコギリの使い方や跳ね返りに注意する等の安全作業の指導を行い、児童たちは熱心に木を切り、心地よい汗をかいていました。また、この様子は地元テレビ局による取材があり、当日の夕刻に放映されました。その後、北限の天然杉を見学し、周辺のスギの太さや高さを計測しました。昼食後は白神の森遊山道にて森林教室を行い、世界遺産白神山のようなブナの木々を眺めながら、様々な木の種類の説明やトチの実をたくさん拾ったりと森林空間を満喫しました。

9月11日（水）、西海小学校4・5年生39名が前日と同じ国有林内で行う予定でしたが、あいにくの雨天となってしまう、林業体験学習は行えず、午前中は白神の森遊山道にて森林教室を行い、昼食後はビデオによる世界遺産白神山地における自然の深さや多様な動物について学習を行いました。また、当センターで行っている動物調査用センサーカメラで撮影された動物の画像を紹介するとともに、近年心配されているニホンジカの侵入について説明、角を実際に見て触れることにより、理解を深めることができましたと思います。

来年度以降も津軽森林管理署とともに地元鰺ヶ沢町の小学生に森林の大切さを伝えるため林業体験学習を継続できればと思います。（小倉）



うまく切れてるかな



大木に挑戦！



ブナの大木に触れて



雨の日に見られる樹幹流

第2回自然再生活動を行いました

9月14日（土）晴天の下、今年度第2回目の自然再生活動を西目屋村鬼川辺国有林にて実施しました。

三連休の初日であり、参加者は10名と予定より少なかったのですが、白神山地ビジターセンターの辻村館長にフォローいただき、津軽植物の会のみなさんに多数ご参加いただきました。

佐々木所長より「白神山地世界遺産地域周辺のスギ人工林を元々の植生であるブナ等広葉樹林に戻していく取り組みであり、白神山地の生態系を学びながら楽しんでください」との挨拶の後、カミネッコン（ダンボール紙の植木鉢）の組み立てを行いました。

参加者からは、「はじめて経験した。とてもおもしろい。」と好評でした。

広葉樹幼樹の堀取りは、昨年度ブナの豊作であったことから、作業道の法面に発生したブナの幼樹をカミネッコンに移植、林内に存置しました。

昼食後は世界遺産の径ブナ林散策道での辻村館長のキノコ談話や津軽植物の会のみなさんの豊富な植物知識を遺憾なく発揮していただき、とても楽しい散策となりました。



カミネッコン作り



ブナ幼樹掘取り



ブナ林を散策



みなさんおつかれさまでした

今回の反省点として、実施日の設定にあることが考えられることから、来年度に関しては多数の方が参加しやすい日程としたいと思います。（小倉）

令和元年度第2回合同パトロールを実施しました

令和元年度2回目の合同パトロールを9月3日（火）に白神山地世界遺産及び周辺地域において実施しました。前日まで雨天が続き、実施が危ぶまれましたが天候も回復し、白神山地連絡会議構成機関はもとより、警察署・漁業組合からの参加もあり、総勢34名により全5コースに分かれて巡視・啓発活動を実施したので、その模様をお伝えしたいと思います。

①ブナ林散策道コース

白神山地森林整備協力金受付所前広場にて、参加者4名により世界遺産を訪れる入山者にパンフレット配布を行いマナー向上への協力を呼びかけしました。平日ではありましたが午前中だけで90名の入山者があり、うち20名はヘルメット着用のうえ暗門溪谷ルートに入り滝に向かった様です。(暗門溪谷に進入する際は、安全を考慮しヘルメット着用を推奨する呼びかけをしています。)



パンフレットの内容・主旨を説明し協力を呼びかけました。



協力への呼びかけを真剣に聞き入れていただきました。



入山者の方々には、快くパンフを受け取っていただきました。

②西股沢コース

参加者13名により巡視活動を実施しました。暗門第1の滝を登った先の西股沢から世界遺産核心地域までの行程で巡視を実施しました。前日までの雨の状況から沢の水位上昇も危惧されましたが、思いのほか出水がなかった様で水位がある個所でもひざ下程度でした。

平成28年度より第2の滝より先は安全を考慮し立入禁止(足場の危うい箇所あり)となっていますが、登山のため入山していた者も数名いたため安全に留意するよう注意喚起を行ったところです。



出水時に流されてきたと思われる流木。



暗門第一の滝の高さ4.2m。西股沢はこの滝をさらに越えた先



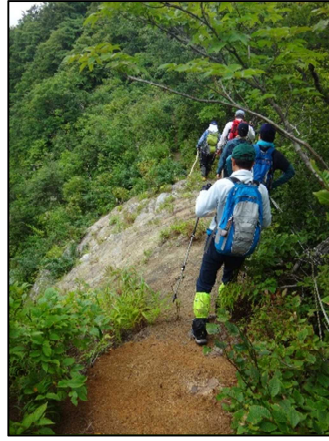
怪我の無いよう細心の注意をはらい巡視活動を実施。

③天狗岳コース

天狗峠より世界遺産地域を経て天狗岳に到達する行程で巡視を参加者6名により実施しました。このコースは尾根筋を伝うルートですが、昨年の台風21号による多数の倒木が発生し歩道も各所で塞がり歩行が困難となっていました。現在は歩道を管理している環境省により撤去作業が実施され、歩行ルートが確保されています。歩道として整備はされていますが、足元の危うい箇所等もありますので、入山の際はご注意ください。



歩道にも昨年の台風による倒木が多く発生していた。



崩壊地を横切る箇所もあり、足場足元に注意する必要あり。



天狗岳山頂からの眺望。向白神岳・摩須賀岳が眺望できる。

④ 笹内川コース

笹内川電力堰堤から魚泊ノ滝までを、参加者7名により巡視活動を実施しました。笹内川は、釣りシーズンともなると釣り客で賑わう河川でもあります。電力堰堤上流部は禁漁区なので、釣りをする際はご注意ください。

今年の6月に青森県の巡視員により堰堤付近の駐車場で焚火跡が確認されたところですが、今回の巡視で同じ場所を確認したところ利用された形跡はありませんでした。その他の違法行為等についても今回の巡視においては、一切確認されなかったところですが。



笹内川沿いは、V字状の地形が続く。雨天時の入山は厳禁。



世界遺産緩衝地域内に位置する魚泊ノ滝に到達。



巡視結果について、班員で取りまとめを行った。

⑤ 白神岳コース

ひと月前のパトロールは高温多湿と、最も過酷な状況であった様ですが、今回は幸いなことに気温はほどほど。参加者4名により登山口駐車場にて、登山者にマナー遵守の啓発活動を行なった後、登山班3名により白神岳登山道での巡視活動を実施しました。この日は、駐車場と巡視活動中を合わせて、4名の入山者にマナー遵守への協力の呼びかけや事故防止等の注意喚起を行ったところです。

前回は、雲に覆われた状況下での巡視活動でしたが、今回もマテ山付近から白神岳まで雲に覆われた状況だったそうで。またしてもご褒美お預けとなってしまいました。が、巡視活動はきっちり実施し、結果として違法行為等は確認されませんでした。



登山者にマナー遵守に協力いただけるよう啓発活動を実施。



マテ山と白神岳への分岐点到達。この時点で雲の中。



前回同様、雲で覆われ何も見えず。またしても眺望お預け。

以上で、今回のパトロールの内容を粗々ながらご紹介したところですが、遺産地域内での違法行為及びマナー違反は、今回の巡視活動中では確認されなかったところでは。

今後についても入山シーズン中は、白神山地世界遺産地域連絡会議の構成機関により、巡視活動を継続していくと共に、下記の呼びかけも行っています。

①決められた道を歩きましょう！

(決められたルートも危険な箇所が多く安易な気持ちで入山しない。)

②動植物を大切に！

(白神山地の自然はみんなのものです。植物を採ったり、踏み荒らさないように。)

③ゴミは持ち帰りましょう！

(野生動物に悪影響を及ぼす恐れがあるので、絶対捨てないで下さい。)

④トイレは適切に！

(トイレは入山前に済ませ、万が一に備え携帯トイレを持参しましょう。)

⑤焚き火は止めましょう！

(山火事の原因になります。火の取り扱いは止めましょう。)

⑥ペットの持込みはやめましょう！

(貴重な生態系に悪影響を与える恐れがあります。)

⑦魚釣りは禁止されています！

(現在、世界遺産地域は全域禁漁区に設定されています。)

白神山地世界遺産地域を訪れる際は、以上のルールを遵守することへのご理解とご協力のうえで、白神山地の雄大な自然をめいっぱい体感していただければと切に願っております。(三浦)

【不定期掲載：巡視活動の合間に・鱒ヶ沢エリア】

津軽白神山林生態系保全センターでは、白神山地における自然再生活動や中・大型哺乳類調査等の業務を行っていますが、それと併せて白神山地での巡視活動も実施しています。巡視活動では、違法

行為等が行われていないかの確認や、入山者にマナー向上に対する協力の呼びかけをしているところです。年間を通じて巡視活動を行っているところですが、白神山地のエリアでは、入山シーズンである6月から11月末まで行っています。巡視の合間に何となくシャッターを切る機会が多々あるわけですが、よくよく考えてみると四季を通じての写真が撮れていたりするところです。

写真データのほとんどは、陽の目を見ることなくお蔵入りとなっていますが、それだと勿体と考えますので少しではありますが、今回は鱒ヶ沢エリアで撮影した写真をお披露目したいと思います。

まずは、奥赤石（櫛石山登山道付近）から



櫛石山登山道からの遠望。稜線の向こうに岩木山を望む。



左の写真の場所で紅葉が始まると、この様な感じに。



昨年の台風 21 号で倒木発生。この様な事象経て、森が若返る。

次は、世界遺産核心地域（クマゲラの森）を。



クマゲラの森。上層木が、ほぼブナで形成された森林。



林床に発生したブナの稚樹。前年度はブナの実が豊作だった。



朽木に繁茂するクサゴケ。苔の花が出ていました。

次は、白神山地周辺地域（人里エリア）を



人里に姿を現したクマタカの幼鳥。



漁港に集まるセグロカモメ若鳥。釣果のおこぼれ狙いか。



鳴瀬川のコサギ。近年田園地帯でもよく見かける種。

今後も各種事業や巡視活動の際に撮影した季節ごとの風景等、本誌を読んだくださる皆様へお届けしたいと考えていますので、ちょっとだけご期待ください。(クオリティーの低さはご容赦を)(三浦)